



報道発表

2022年3月8日

トレジェムバイオフーマ株式会社への追加投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美 公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるトレジェムバイオフーマ株式会社（本社：京都市左京区、代表取締役：喜早ほのか）への追加投資を実行しました。

○今回の投資の概要

トレジェムは、（公財）田附興風会医学研究所北野病院歯科口腔外科の高橋克主任部長（2020年12月まで京都大学大学院医学研究科准教授）の研究成果を基に設立された世界初の歯の再生治療薬である抗体医薬品を開発する京都大学発ベンチャーです。これまでに、USAG-1 タンパク質（BMP（骨形成蛋白）／Wnt のアンタゴニスト）が歯の発生過程に関与し、USAG-1 を抑制する中和抗体によって無歯症モデル動物で欠損歯が歯槽骨と共に回復することを明らかにしています。トレジェムは USAG-1 中和抗体の実用化を目指しており、同抗体のヒト化に成功しました。

トレジェムは今回の資金調達により、USAG-1 中和抗体の非臨床安全性試験と治験用製剤の製造準備を進めます。トレジェムは、根本的な治療手段がない先天性無歯症患者を第一適応症の候補として USAG-1 抗体の開発を行います。さらに、USAG-1 中和抗体は永久歯の後の第三生歯を発生させることを動物試験にて確認しています。この知見は、高齢者のオーラルフレイル（口腔内の虚弱）の改善に貢献し得ると考えています。

京都 iCAP は、トレジェムが同技術により歯科治療に新たな治療手段を提供し得ると考え、第三者割当増資による総額 4 億 5,000 万円の調達のうち 2 億円を引き受けました。また今回の調達には京都 iCAP 以外に、Astellas Venture Management LLC、株式会社 Gemseki、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、株式会社京信ソーシャルキャピタル、京都市スタートアップ支援 2 号ファンドが参加しています。



トレジェムバイオフィーマ株式会社 概要

設立 2020年5月
事業内容 歯の再生治療を目指す新規医薬品の研究開発
本社所在地 京都市左京区
代表取締役 喜早 ほのか

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用するベンチャー企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンド（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。1 号ファンドの満期は最長 20 年、2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL：075-753-7588 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp